

## すぐ使える、美容皮膚科診療で大切な皮膚科の知識

### 櫻井 直樹

Naoki Sakurai

医療法人社団鐵櫻会 シャルムクリニック

従来、皮膚科診療と美容診療は似て非なる領域を担当していた。しかしながら医学の進歩、機器の進歩により、お互いに類似した領域を、場合によっては同じような機器を用いて治療することも多くなってきている。発表者は皮膚科専門医という立場から皮膚科診療と美容診療のどちらも行っているが、重なりあう部分が多いと実感するのが正直なところである。一方で、皮膚科治療で改善せず美容治療を求めて来院する患者が一定の数で存在する。逆もまた然りである。後出しにはなってしまうが、初期診断に疑問をもつ症例も存在する。複数回の治療を行って改善が見られない時には漫然とその治療を継続するのではなく、初期診断に立ち返ることは重要である。本演題では、美容治療目的で来院した患者さんの中で見落されやすい皮膚科疾患、見落としてはいけない皮膚科疾患を中心に、頭頸部における「しみ」「にきび」「できもの」の3つのカテゴリーに分けて、皮膚科疾患を鑑別する上でのポイントを概説する。皮膚科医以外には馴染みが薄いと思われるダーモスコープを用いた診断法やステロイド外用剤の正しい使い方についても言及し、実際の臨床に則した内容を心掛けた。本演題が美容診療を行う上で一助となれば幸いである。